

■総務委員会 (10月22日～24日)

文京区：青少年プラザ(ビラボ)について
 名古屋市：防災・減災の取り組みについて
 岐阜市：多文化共生について

文京区では、以前から中高生の居場所づくりが課題となっていたため、中高生が主体的に社会性を身につけ、自らの可能性を広げられる居場所となるよう中高生に特化した青少年プラザを開設しました。多くの中高生が集い活気のある施設でした。名古屋市の防災・減災の取り組みでは、民間のウェザーニューズと契約を結んだ、なごや減災プロジェクトなど今後の参考になりました。岐阜市の多文化共生では、今後増加が予想される外国人市民との交流など、多様性を受け入れる環境を整える取り組みの必要性を感じました。(委員長 連石武則)



■民生福祉委員会 (10月24日～26日)

川崎市(日本理化学工業株)：障がい者雇用の取り組みについて
 渋谷区：パートナースhip条例について
 吹田市：子どもの貧困対策について



川崎市のチョーク製造会社、日本理化学工業株式会社では社員の7割以上が知的障がい者で、視察時に、仕事に取り組みにくい現場を見せていただきました。渋谷区では、男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例の制定過程や課題を詳しく聞くことができました。吹田市では、子どもの生活実態アンケートを基に、4つの重点施策、7つの基本支援の具体的施策について学ぶことができました。(委員長 西本章)

任 委 員 会 報 告
 常 委 視 察

■文教経済委員会 (10月29日～31日)

仙台市：起業支援センターアシスタについて
 郡山市：ICT教育について
 武蔵野市：武蔵野クリーンセンターについて

仙台市では、持続的な地域経済発展のため「日本一起業しやすいまち」の実現に向け、事業プラン、起業の準備、起業後の事業安定等、起業全般の課題解決をサポートする取り組みを行っており、本市での起業支援の参考になりました。郡山市では、「教育の情報化」推進計画を策定し、市立小中学校へのソフトウェアやプロジェクター等の周辺機器の整備を含め、ICT環境の整備を推進されています。教員もICTを活用し、児童生徒に「わかる授業」が提供できるようICT活用指導力の向上に取り組みまれました。(委員長 生田政代)



■建設水道委員会 (10月29日～31日)

春日井市：先導的モビリティに関する取り組みについて
 千葉市：AIを活用した道路補修効率化について
 浜松市：新技術によるインフラのメンテナンスサイクル構築に向けて



AI、ICTを活用したスマート自治体をめざして先進3都市を視察しました。春日井市では、自動運転車両や車いす型のパーソナルモビリティ等の新たな移動手段とバス、タクシー等の既存交通とのベストミックスに向けての実証実験、千葉市では「ちばレポ」という本市の市民通報アプリ「パ撮ローズ」の上を行く市民協働コミュニケーションツールの運用、浜松市では、カメラを積んだ車で走るだけで道路のひび割れ等をチェックするというICTを活用した道路点検手法を学びました。(委員長 大田祐介)

各特別委員会では、今後のまちづくりに役立てていくため、次のとおり、先進都市の取り組みを視察しました。

■行財政改革特別委員会 (11月12日～13日)

豊橋市：行財政改革プランの取り組み、評価・検証の仕組みについて
 秦野市：公共施設再配置の取り組みについて

■都市整備特別委員会 (11月8日～9日)

熊本市：白川 熊本駅周辺かわまちづくりについて
 薩摩川内市：川内川 向田地区かわまちづくりについて

■地方創生調査特別委員会 (11月7日～8日)

北九州市：ウーマンワークカフェ北九州について
 若者ワークプラザ北九州について
 佐世保市：移住・定住の促進について